

環境・社会評価研究チーム

目的：新規エネルギー技術の普及による影響評価手法・ツールの開発

社会要請：GHGs削減 レジリエンス 系統安定化 etc.

ゼロエミ化に向けた社会制度設計

標準化 CASE サービス設計

電力融通 売買取制度 VPP etc.

社会ニーズに応える技術開発

太陽光 燃料電池 資源循環 CCU/CCS

蓄電池 水素 人工光合成 etc.



AI

IoTによってもたらされるビッグデータ

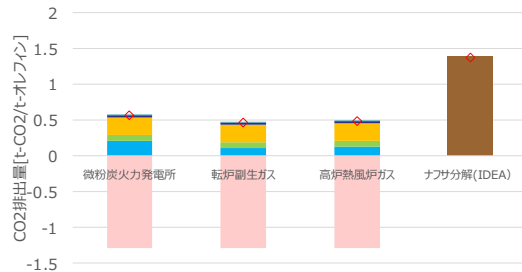
エネルギーモデル

LCA

Zero-emission Societyの実現へ

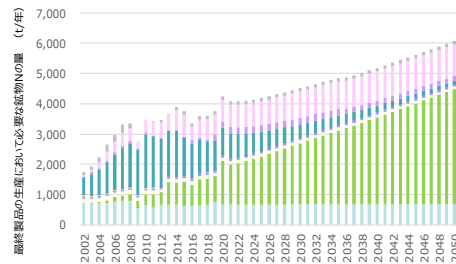
LCAによるカーボンリサイクルシステムの導入可能性評価

- プロセスシミュレーションをベースに様々な条件でカーボンリサイクルのLCAを行う評価ツールの開発



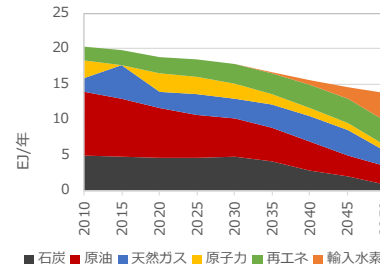
エネルギー技術を支える鉱物資源の循環利用可能性評価

- CO₂大幅削減技術の導入によって生じる鉱物資源制約を評価
- 鉱物資源の循環利用によるCO₂削減量を推計できるツール開発



エネルギーモデルを用いた長期シナリオの検討

- CO₂大幅削減を実現可能な技術導入シナリオの策定
- 技術導入に伴う環境や社会経済への影響評価手法の開発



AI・IoTを利用した大規模データ解析手法の開発

- 電力融通などを用いた効率的なエネルギー利用の社会制度設計
- 家庭部門の高度な省エネ化を実現するためのライフスタイル解析

